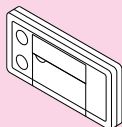
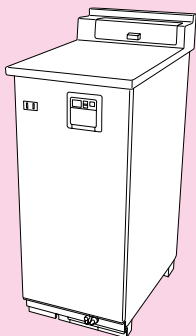


調理台形ガス給湯器

533-N600/N601/N602型
533-N603/N604/N605型

型式名 GBF-1611D-E
GBF-1311D-E



(浴室リモコン)

もくじ

必ずお守りください(安全上の注意) ……	1
各部のなまえとはたらき ……	8
初めてお使いになるときは ……	13
使いかた	
操作部で時計を合わせる ……	14
お湯の出しかた ……	15
お湯はりのしかた(お湯はリプザー) ……	17
浴室からの呼び出しかた ……	19
操作確認音の消しかた、鳴らしかた ……	19
冬期の凍結による破損予防 ……	20
日常の点検・手入れのしかた ……	22
故障かな?と思ったら ……	23
アフターサービスについて ……	26
主な仕様 ……	27
保証書 ……	裏表紙

取扱説明書 保証書付

大阪ガス

- このたびは大阪ガスの調理台形ガス給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- ・この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
 - ・保証書の内容もよくお読みいただき、保証期間・保証内容などを確かめてください。
 - ・この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

SBA8074



SBA8074 T

必ずお守りください(安全上の注意)

安全に正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客さまや他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■ 危害・損害の程度による内容の区分

危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い 安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

■ 注意・禁止内容の絵表示

	感電注意		禁止
	高温注意		火気禁止
	アース必要		接触禁止
	電源プラグを抜く		分解禁止
			ぬれ手禁止

⚠ 危険

給排気筒の外れ、穴あき、つまり



- 給排気筒の接継部が外れていたり、穴があいていないか確認してください。
- 給排気筒トップに鳥などの巣ができていたりゴミなどがつまったりしていないか確認してください。

排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。

ガス漏れ時の処置



火気禁止

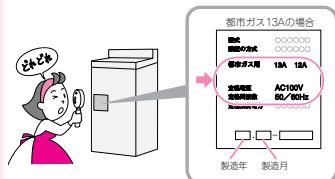


ガス漏れに気づいたときは、次の1～2の処置が終わるまでの間、絶対に

- 火をつけない。
 - 電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しをしない。
 - 周辺の電話も使用しない。
- 火や火花で引火し、火災のおそれがあります。
1. すぐに使用をやめ、本体のガス栓を閉じる。
 2. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

警告

使用ガス、電源の確認



- 銘板(ラベル)に表示しているガスの種類以外では使用しないでください。表示以外のガスで使用すると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。
- 電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です。他の電源で使用すると火災・感電の原因になります。
- わからない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

やけどに注意



- シャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。やけど予防のため。



- 入浴の際には、手でお湯の温度を確認してから入浴してください。やけど予防のため。

異常時・緊急時の処置

1. 給湯栓を閉める。
2. 運転スイッチを「切」にする。
3. ガス栓・給水元栓を開める。



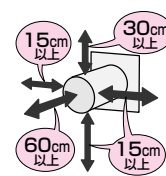
- 異常時(給排気筒トップから煙が出る、こげ臭いなど)または、地震・火災などの緊急の場合は上記の処置をし、すぐに販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。火災・感電・故障などの予防のため。

火災の予防



- 給排気筒トップのまわりに燃えやすい物(洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など)を置かないでください。火災の原因になります。

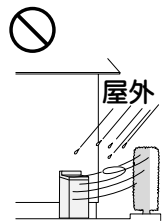
周囲の防火措置について



- 給排気筒トップのまわりに燃えやすい物(樹木・木材・箱など)がある場合は、最低限必要な距離をとってください。火災予防のため。

警告

屋外設置の禁止



- この本体は屋内設置形です。屋外への設置は絶対しないでください。雨水が浸入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。

本体の設置・移動工事は

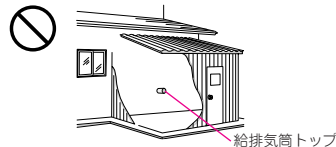
- ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要のため、本体の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの大阪ガスに依頼してください。安全に使用していただくため。

本体・操作部・リモコンの分解禁止

- 本体・リモコンは絶対に分解しないでください。分解禁止 故障の原因になります。

波板囲いなどの禁止

- 増改築などによって、給排気筒トップを屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをしないでください。一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



太陽熱温水器との接続禁止

- 太陽熱温水器とは絶対に接続しないでください。お湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯が出るなど、やけどの危険性が高くなります。また、本体の故障の原因にもなります。

電源プラグは確実に



- 電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

感電に注意



- 電源プラグは、ぬれた手でさわらないでください。感電の原因になります。

養生シート使用時は



- 外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時などに給排気筒トップが養生シートで覆われた場合は、機器を使用しないでください。不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発着火の原因になります。

⚠ 注意

やけどに注意



接触禁止

●給排気筒トップのまわりは、使用中や使用後しばらくは高温です。手を触れないでください。やけど予防のため。



特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

アースの確認



アース必要

●この本体には、アースが必要です。本体が故障した場合、感電の原因になります。

用途について

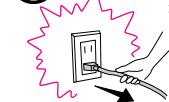


●給湯・シャワー以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故を予防するため。

抜き差しはプラグを持って



●電源プラグの抜き差しは、プラグを持っておこなってください。電源ケーブルを持って抜くと芯線の一部が断線して、発熱・火災の原因になります。



お願い

雷が発生しはじめたら



電源プラグを抜く



ぬれ手禁止



感電注意

●すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。(またはブレーカーを落としてください) 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、時計を合わせてください。



ぬれた手でさわらない
(感電のおそれがあります)

※ 冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。

本体のまわりはきれいに

●本体のまわりはいつもきれいにしておいてください。まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、本体の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、本体の損傷や火災の原因になることがあります。

停電時の処置

●停電したときは、運転が停止します。
●停電後、設定した給湯温度表示が、お買い上げ時の設定に変わる場合がありますので確認してから使用してください。(電源プラグを抜いたときも同じです)

子供のイタズラに注意

●操作部を子供がイタズラしないように注意してください。知らないうちにお湯の温度が高温になったり、お湯はりの湯量が変わるなどの可能性があります。

排気ガスについて

●排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置してください。増改築時と同様に注意してください。ガラスが割れたり、変色する原因になります。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

●水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。この場合は保証期間内でも有料修理になります。

日常のお手入れ

●浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

故意に水をかけない

●トップカバーフタに故意に水をかけないでください。内部に水が入り、故障の原因になります。

各部のなまえとはたらき -1

本体

お願い

操作部・リモコンについて

- 操作部・リモコンの掃除には、ベンジンや塩素系の洗剤を使わないでください。
変形する場合があります。
- 操作部に炊飯器、電気ポットなどの蒸気を当てないでください。
故障の原因になります。

ガス事故防止

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

結露現象に注意

- 水を出すときには、運転スイッチ「切」の状態でお湯側より水を出すことはしないでください。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。
- お湯を出すときには、運転スイッチが「入」であることを確認してお湯を出してください。
運転スイッチ「切」の状態でお湯側より水を出すと、熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因となったり、電気部品の損傷につながります。

飲用にお使いのときは

- 長時間使わなかった後の使い初めのお湯は、念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用・調理にお使いください。

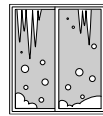
長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合、凍結および万一のガス漏れを防止するため、必要な処置をしてください。(☞P21)

積雪時の注意

- 積雪時には給排気筒トップの点検、除雪をおこなってください。
給排気筒トップへの積雪や屋根から落ちた雪により、給排気筒トップがふさがれて不完全燃焼し、本体の故障の原因になることがあります。

凍結に注意



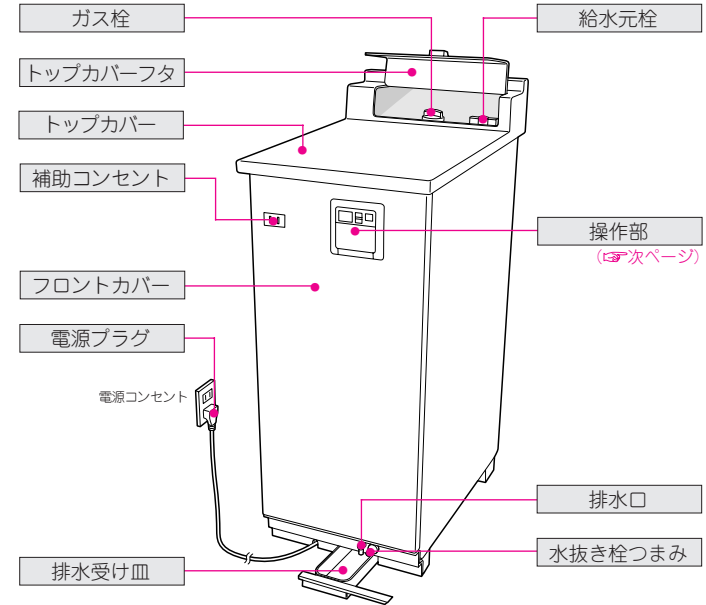
- 冬期は、凍結による本体の破損予防のため必要な処置をしてください。(☞P20,21)
凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

特監法対象製品です

- この製品の設置工事及び変更工事は、法律(特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律)に基づいておこない、工事完了後本体に法定のステッカーを貼り付けることになっていますので確認してください。

市販の補助用具使用について

- この本体の純正部品以外は使用しないでください。
思わぬ事故を予防するため。
- 水圧の低い地域では、泡沫水栓を使用しないでください。
- 給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルタ(金網)を掃除してください。
(わからないときは、販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください)

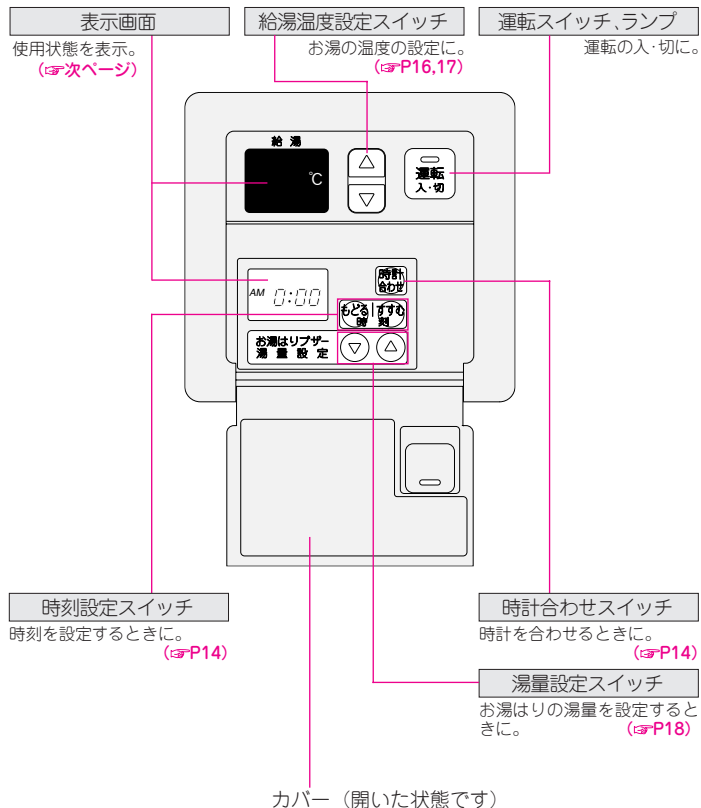


※上のイラストは施工例です。

配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

各部のなまえとはたらき -2

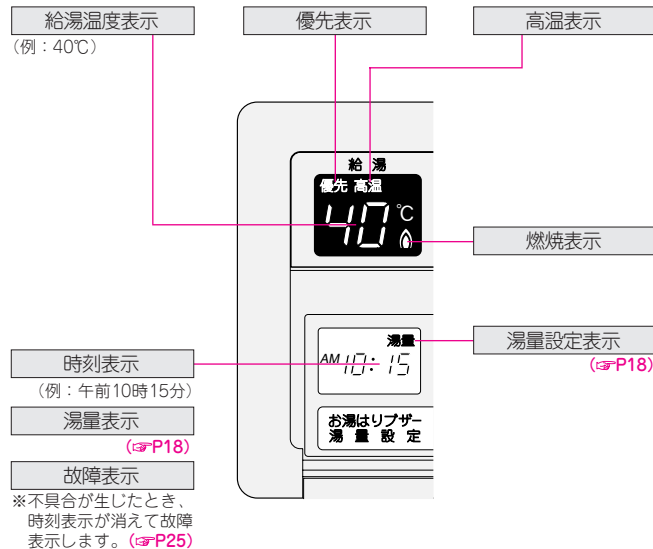
操作部



※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

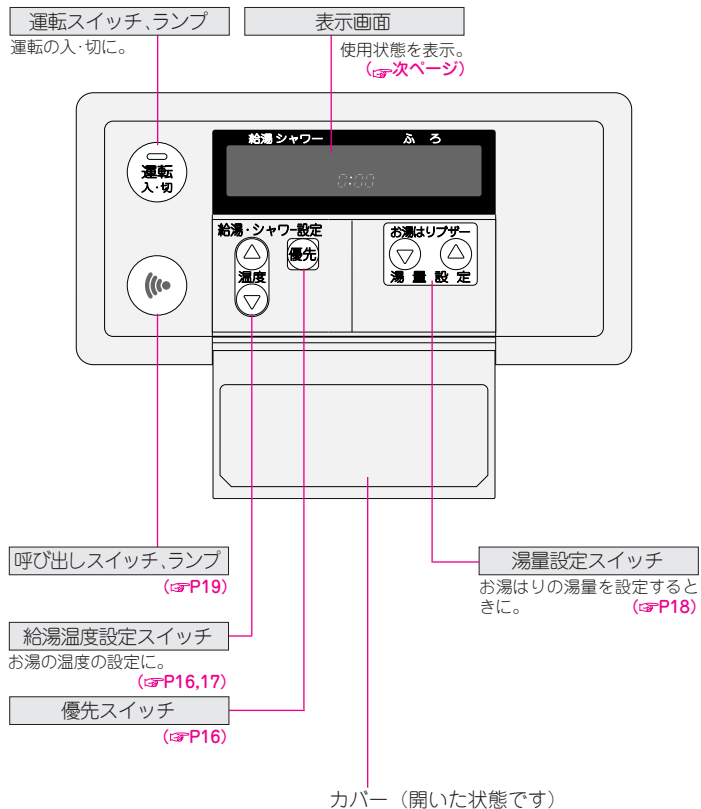
表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



各部のなまえとはたらき -3

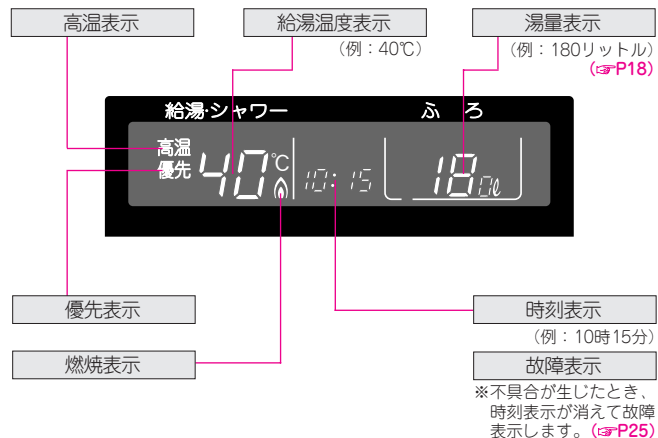
浴室リモコン(038-0750) <別売品>



※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

表示画面

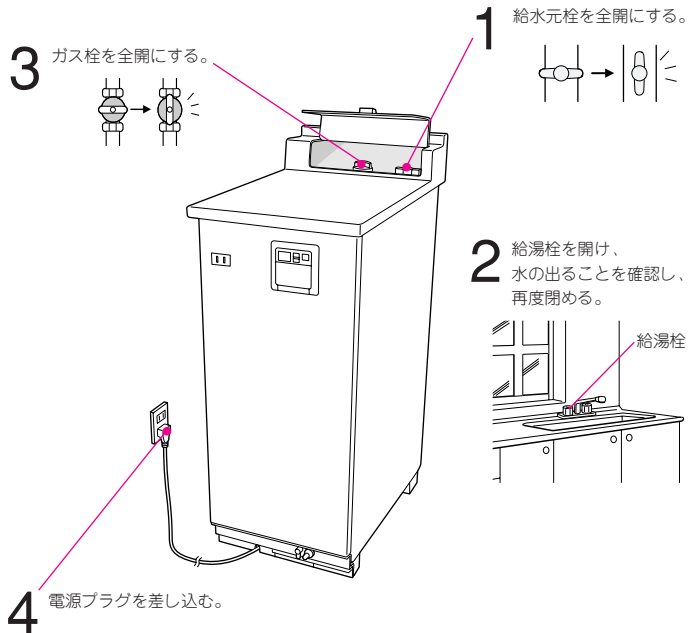
下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



初めてお使いになるときは

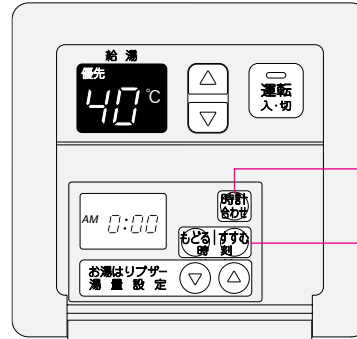
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1～4 の手順でおこなってください。



使いかた 操作部で時計を合わせる

(操作部)



運転スイッチ「入・切」に関係なく設定できます。(左の画面表示は運転スイッチ「入」の状態です)

1・3
2

1 時計合わせスイッチ
押す



〈 AM 0:00 〉が点滅します。



2 時刻を合わせる



一度押す毎に1分ずつ変わります。押し続けると10分ずつ変わります。



例：「午前10時15分」のとき

3 時計合わせスイッチ
押す

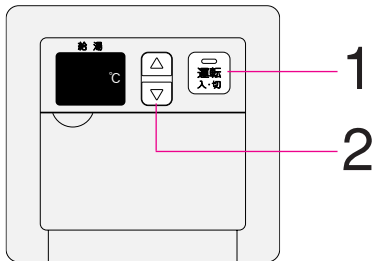


点滅から点灯に変わり、時計が動き出します。

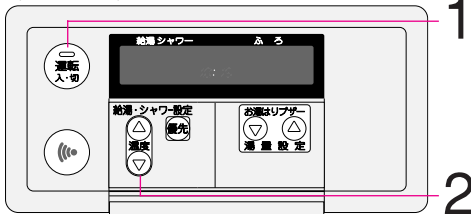


使いかた お湯の出しかた

(操作部)



(浴室リモコン)



ここでは操作部でご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

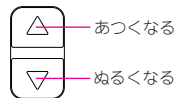
1 運転スイッチ
押す



前回に設定した温度
(例: 40°C)

<一度設定すると記憶します>

2 給湯温度設定スイッチを押して
温度を調節する
(変更しないときは温度を確認する)



優先表示確認



お湯の温度

3 給湯栓を開ける



点灯

4 給湯栓を閉める



消灯

37~48°Cの1°Cきざみと60°C, 75°Cで調節できます。

(目安の温度: °C)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60	75
食器洗いなど	シャワー	給湯など	給湯など	給湯など	給湯など	給湯など	給湯など	給湯など	給湯など	給湯など	給湯など	給湯など	高温

※運転スイッチを「切」にし、再度使用する
るとき、前回の温度が75°Cのときは、
安全のため60°Cに変わります。

●1回押すごとに1段階ずつ、長押しすると連続で表示が変わります。
ただし、44°C以上に上げるときは1回ずつ押してください。



警告

やけど予防のために



高温注意

- シャワーなどお湯を使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 60°C, 75°Cに設定したときは《高温》の表示が点滅(約10秒)後、点灯してお知らせします。
- 60°C, 75°Cの高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。表示の温度をよく確かめてから使用してください。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人は《優先》を切り替えしないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変わります。



<操作部表示画面>

点滅 → 点灯



お湯の温度は、《優先》を表示しているリモコンで調節します

浴室リモコンで調節したい
が優先表示がついていない

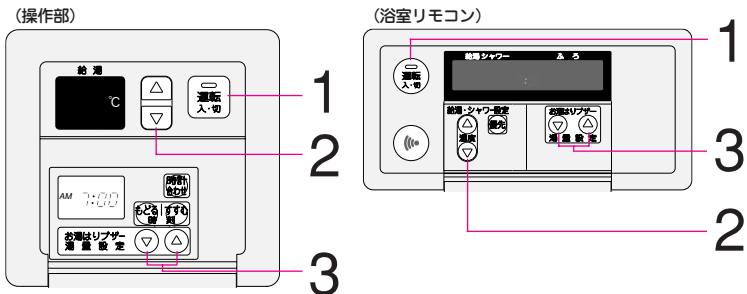


操作部で調節したいが
優先表示がついていない



《優先》を表示し、
そのリモコンで
お湯の温度の
調節ができます。

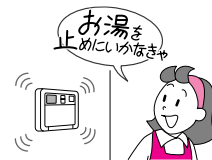
使いかた お湯はりのしかた(お湯はりブザー)



ここでは操作部でご説明します

浴そうにお湯をはるとき、お湯の量を設定しておくのと、その量になったときにリモコンのブザーが約10秒間鳴ってお知らせします。

(お湯は自動的に止まりません)



お湯はりの温度の目安 (°C)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ											あつめ

●1回押すごとに1段階ずつ、長押しすると連続で表示が変わります。ただし、44℃以上に上げるときは1回ずつ押してください。

運転前の準備

- 浴そうの排水栓を閉める。
- 浴そうのふたをする。

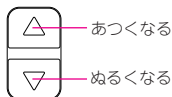
<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチ 押す



<一度設定すると記憶します>

2 給湯温度設定スイッチを押して 温度を調節する (変更しないときは温度を確認する)



優先表示確認

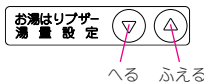


お湯はりの温度 (例: 42°C)

- お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの湯量が少なくなります。
- 残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴そうに残っている湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。
- 前日などの残り湯(水)があるときは、設定した温度にはなりません。

<一度設定すると記憶します>

3 湯量設定スイッチを押して 湯量を調節する (変更しないときは湯量を確認する)



40~260(20リットルきざみ)・300・350・400・990リットルの値で調節できます。(目安の量)

③ 990リットルの場合、ブザーは鳴りません。



お湯はりの湯量(例: 180リットル) ※約3秒後時計表示に変わります。

<浴室リモコンの場合>



お湯はりの湯量(例: 180リットル)

4 浴そうの給湯栓を開ける



点灯

5 ブザーが鳴ったら 給湯栓を閉める

ブザー(ピピッ音)が鳴ったら設定量お湯はりしました。お湯を止めてください。



消灯

③ 990リットルの場合、ブザーは鳴りません。

使いかた 浴室からの呼び出しかた (浴室リモコンがある場合)

(浴室リモコン)



台所側(操作部)を呼び出すことができます。



呼び出しスイッチ 押す



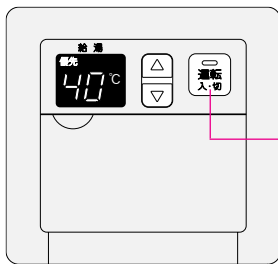
呼び出しスイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

操作部でブザーが約3秒間鳴ります。この間ランプが点灯します。

使いかた 操作確認音の消しかた、鳴らしかた

操作部、浴室リモコンそれぞれで設定できますがここでは操作部でご説明します

(操作部)



操作部・浴室リモコンは各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」という音がします。お好みによりこの音を鳴らないようにしたり鳴るようにしたりできます。(お買い上げ時は鳴るように設定しています)

運転スイッチ
5秒以上押し続ける



- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 呼び出しブザーおよびお湯はりブザーは、操作確認音を消しても鳴ります。

冬期の凍結による破損予防 -1

冬期には本体や配管内の水が凍結し、破損することがありますので、以下の方法で凍結を予防する必要があります。

通常の寒さのとき

自動的に凍結予防します。

- ※電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないください。
- ※リモコンの運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。

気温が下がってくると、凍結予防ヒーターが自動的に作動して本体内を保温し、凍結を予防します。

凍結予防ヒーターでは、給水・給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または、電気ヒーターを巻くなどの処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください)

低温注意報が発令されたときや冷え込みが厳しいとき

以下の要領で、通水による凍結予防をしてください。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. ガス栓を開める。
3. お風呂の給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc・太さ約4mm)を流したままにしておく。
※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
4. 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。



- この方法は、本体だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
- サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
- この処置をしても凍結するおそれのある場合には、21ページの要領で水抜きをおこなってください。

※結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態でも給湯栓から水を出さないようにはお願いしていますが(※P7)、凍結予防の処置の場合は問題ありません。

凍結して水が出ないとき

1. ガス栓・給水元栓を開める。
2. 運転を「切」にし、給湯栓を開ける。
4. とどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
5. 水が出るようになっても、本体や配管から水漏れがないかよく確認の上、13ページの「初めてお使いになるときは」の手順1~4にしたがって使用してください。

- 凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。本体の故障の原因となります。
- 凍結により本体が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

冬の凍結による破損予防 -2

長期間使用しないとき

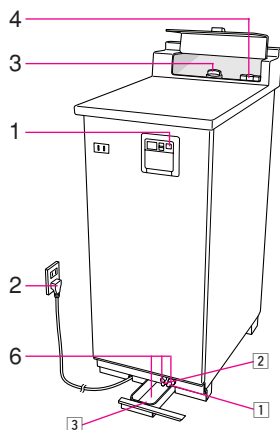
以下の要領で水抜きをしてください。

注意



お湯の使用後は、本体のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

- 1 操作部または浴室リモコンの運転スイッチの「入」・「切」をゆっくり2～3回くりかえし、最後に「切」にする。
- 2 電源プラグを電源コンセントから抜く。
ぬれた手でさわらないで
- 3 ガス栓を開める。
- 4 給水元栓を開める。
- 5 すべての給湯栓を全開にする。
- 6 水抜き栓つまみ①を左にまわし、排水口②から出る水を排水受け皿③で受ける。
※排水受け皿③の半分ほどの深さまで水がたまったらそのつど水を捨て、排水受け皿③から水があふれないよう注意してください。
- 7 排水口②から完全に排水したことを確認し、水抜き栓つまみ①を右にまわして閉め、次に使用するまでそのままにしておく。



- この方法では、給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または、電気ヒーターを巻くなどの処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください)

再使用のとき

1. 水抜き栓つまみ①が開まっていることを確認する。
2. すべての給湯栓を閉める。
3. 13ページの「初めてお使いになるときは」の手順1～4にしたがってください。

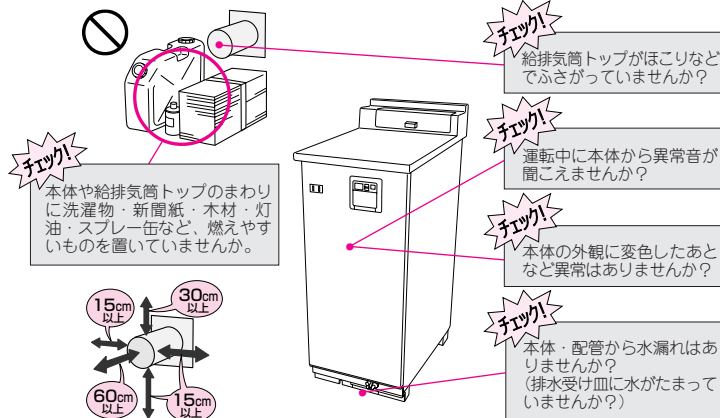
日常の点検・手入れのしかた

点検(定期的)

注意



お湯の使用後は、本体のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。



お手入れ(定期的)

本体

本体の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと、充分水気をふき取ってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤をお使いください。

- トップカバー・フタに故意に水をかけないでください。内部に水が入り、故障の原因になります。

排水受け皿

月に1回程度排水受け皿を点検し、たまった水を捨ててください。

リモコン・操作部

操作部・浴室リモコンの表面が汚れたときは、濡った布でふいてください。

- 操作部・浴室リモコンの掃除にはベンジンや塩素系の洗剤を使わないでください。変形する場合があります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。(操作部は防水タイプではありません)

<定期点検のすすめ(有料)>

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障かな？と思ったら-1

次のことをお調べください

運転ランプが点灯しない

- 停電していませんか？
- 電源プラグが差し込まれていますか？

給湯栓を開いてもお湯が出ない

使用中に消火した

※ リモコンに故障表示が出ている場合は25ページを参照してください

- ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？
- 断水していませんか？
- 給湯栓は充分開いていますか？
- 凍結していませんか？(P20)
- ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？
- LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？

高温のお湯が出ない
低温のお湯が出ない

- ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？
- 操作部・浴室リモコンの給湯温度設定は適切ですか？(P15~16)

次のような場合は故障ではありません

給湯栓を絞りすぎて水になった

給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5L以下になったとき消火します。
給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。

給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない

本体から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。

お湯が白く濁って見える

これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。
ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。

寒い日に給排気筒トップから白い煙が出る

冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。

運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする

再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転します。

低温のお湯が出ない

夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。
給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。

停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう

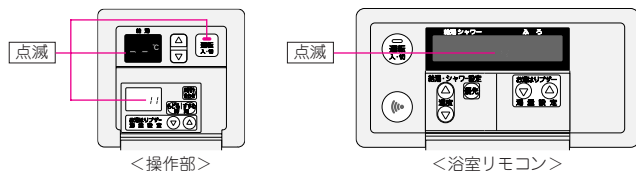
停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度が工場出荷時の設定(給湯温度：40℃、湯量：180L)に変わる場合がありますので設定しなおしてください。

故障かな？と思ったら-2

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、その原因を故障表示(点滅)してお知らせします。
(操作部は運転ランプも点滅します)
下表に応じた処置をしてください。

例：《！！》を表示したとき、下図のような点滅をくりがえします。



表示	原因	処置
01	給湯を連続60分以上運転したため	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。
11	点火エラーが生じました	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。(P23)
99	本体の燃焼に異常が生じています	販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

以下の場合、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください

- ・上記以外の表示(例：51など)が出る時
- ・上記の処置してもなお表示が繰り返し出るとき
- ・その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼される時

23~25ページの「故障かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

型番 …………… 533-N600/533-N601/533-N602型
533-N603/533-N604/533-N605型
(機器正面に貼り付けてある銘板または保証書をご覧ください)
異常の状況 …… (故障表示など、できるだけ詳しく)
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日



保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。
保証書に記載されている保証期間・保証内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後10年です。
但し、保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで本体を移設されるときは、本体(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧)が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業所・お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、本体の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

※ガスの種類によっては改造・調整ができない場合があります。

主な仕様

仕様表 / 能力表

型番	533-N600/N601/N602型		
型式名	GBF-1611D-E		
種類	設置方式	屋内設置形	
	給湯方式	先止め式	
点火方式	放電点火式		
水圧	使用水圧	0.1~1.0MPa(1.0~10.0kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.15~0.5MPa (約1.5~5.0kgf/cm ²) >	
	作動水圧	10kPa (0.1kgf/cm ²)	
最低作動流量	3.5L/分		
外形寸法	高さ800mm×幅350mm×奥行550mm		
質量(本体)	35kg		
接続口径	給湯	R3/4	
	給水	R3/4	
	ガス	R3/4(13A), R1/2(LPガス)	
電気関係	電源	AC100V (50/60Hz)	
	消費電力(50/60Hz)	58W/58W	
	凍結予防ヒーター	141W	
	待機時消費電力	7.0W	
温度制御方式	電子式ガス比例制御方式		
安全装置	立消え安全装置、空だき防止装置、過圧防止安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、漏電安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置		

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 (最大消費量)	出湯能力(最大時) (L/分)	
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用 13A	34.9kW	16	10
LPガス用	34.9kW	16	10

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表 / 能力表

型番	533-N603/N604/N605型		
型式名	GBF-1311D-E		
種類	設置方式	屋内設置形	
	給湯方式	先止め式	
点火方式	放電点火式		
水圧	使用水圧	0.1~1.0MPa(1.0~10.0kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.15~0.5MPa (約1.5~5.0kgf/cm ²) >	
	作動水圧	10kPa (0.1kgf/cm ²)	
最低作動流量	3.5L/分		
外形寸法	高さ800mm×幅325mm×奥行550mm		
質量(本体)	35kg		
接続口径	給湯	R3/4	
	給水	R3/4	
	ガス	R3/4	
電気関係	電源	AC100V (50/60Hz)	
	消費電力(50/60Hz)	50W/50W	
	凍結予防ヒーター	141W	
	待機時消費電力	7.0W	
温度制御方式	電子式ガス比例制御方式		
安全装置	立消え安全装置、空だき防止装置、過圧防止安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、漏電安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置		

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 (最大消費量)	出湯能力(最大時) (L/分)	
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用 13A	28.5kW	13	8

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。